

サポート資源提供システム 2010年度事業計画・予算

2010年4月1日～2011年3月31日

サポート資源提供システム 事務局

特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター

「サポート資源提供システム」は、本格運用8年目、「地域貢献サポートファンドみんな(みんなファンド)」は、運用7年目に突入する。この8年半で、総額 7136.65 万円相当の資源+土地 2.5ha を、地域の市民活動団体に提供してきた実績は、地域の資源仲介システムの先駆モデルとして全国的にますます高く評価されている。

また、「みやぎの地域公益活動ポータルサイトみんな」を、2008年6月10日に開設、NPO情報ライブラリーの機能充実と共に、総合的な地域公益ポータルサイトとしての運用を目指し積極的に取り組んできた結果、登録NPOの理解も進み、ブログによる活動情報発信支援がうまく機能するようになり、多数のアクセスを誇るブログも目立つようになった。

昨年に引き続き地元企業のCSRへの取り組み支援として、セミナー等の開催、CSR大賞への推薦などをダイバーシティ研究所、日本財団 Canpan、IIHOE と提携して進めてきた。またCSR推進相談所は、ますます地元企業の相談件数が増加している。

今年は、ライブラリーとポータル、ブログによる情報開示・発信支援と助成金相談会の継続的な開催、コンサルティング団体の増加、せんだいCARE Sキャンペーンとの連動、CSRへの取り組みなどの全体の連動性を高め、資源の提供効果を高め、より多くの企業との関係を構築して、参加企業獲得に向けて行動するときと考えている。

また、ファンドや資源提供部分の分社化と認定NPO法人化または公益財団化の検討を開始することになったが、より具体的に検討を進めるものとした。

[資源提供目標]

・システム協賛企業・団体	12社
・システム提携企業・団体	10社
・提供資金	900万円
・提供パソコン(中古PC)	30台
・提供物品(中古オフィス備品)	随時
・ライブラリー登録NPO	150団体

[事業]

- 運営委員会 6/23、年度内にあと1～2回程度開催予定
- セミナー等 企業対象のCSRセミナーの開催やCSR推進相談所の浸透

- 公益財団設立に向けた勉強会など
- 情報発信 地域公益活動ポータルサイトみんなの定着と認知向上
Webサイトの整理と発信力の強化

[事務局組織体制]

- ・全体責任者／加藤哲夫(B)
- ・全体副責任者・企業コミュニケーション担当／紅邑晶子 (A)
- ・「資金」担当者／加藤哲夫 (B)、谷口恵子 (C)、布田剛 (D)
- ・「物品 (中古オフィス備品)」担当者／紅邑晶子 (A)、小川真美 (E)
- ・「パソコン等 (中古PC)」担当者／紅邑晶子 (A)、布田剛 (D)
- ・「情報発信・ライブラリー管理等」担当者／小川真美 (E)
変更予定 ライブラリー担当者 → 谷口恵子 (C)、布田剛 (D)
- ・会計事務担当／遊佐さゆり(F)
- ・担当理事／大滝精一、加藤哲夫、紅邑晶子
木村正樹、針生英一、増子良一

[年 間 予 算]

●収入の部

システム協賛金：	10社×5万円+2社×10万円=70万円
事業収入A：セミナー、シンポジウム等	5万円
事業収入B：手数料収入等	150万円
負担金：せんだい・みやぎNPOセンター	200万円
合 計：	425万円

●支出の部

人件費：A×1/10 + B×1/20 + C×5/5 + D×1/4 +E×1/5+F×1/20=	306万円
管理費：社会保険料等	37万円
家賃、光熱費等 1/10	24万円
事業費：会場費	5万円
講師謝金・交通費等	10万円
運搬費	5万円
支払い手数料	2万円
事務局費：消耗品費	10万円
通信費	20万円
予備費：	6万円
合 計：	425万円